

NEWS

新入社員安全衛生教育・研修開催

- ・日 時：令和5年9月5日（火）
午後1時30分
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- ・参加者：19名（19社）

安全衛生委員会（伊藤泰雄委員長）は、職場における安全衛生水準の向上、労働災害のより一層の減少を図るため、新入社員（概ね入社後3年以内）の安全衛生教育・研修を開催しました。

開会の挨拶で伊藤委員長は「本日の研修は、入社数か月の方から3年以内までの方が受講されています。ちょうど仕事が楽しくなってきた時期の方もいらっしゃるかと思いますが、慣れてきますと事故に対しての意識が薄れてきます。今一度、安全衛生の取組をしっかりと習得され、会社にて労働災害ゼロを目指してください。」と述べました。

〈研修Ⅰ〉では講師として、山本英之安全衛生委員（明倫運輸（株）常務取締役）が登壇されました。

1. 安全衛生管理の必要性
2. 労働災害統計
3. 労働安全衛生法の体系
4. 安全のルール
5. ハイソリッヒの法則
6. ヒヤリ・ハットとその事例
7. 危険予知（KYT）のすすめ
8. 職場で実践する危険予知活動（KY）指差し呼称
9. 作業（仕事）に関する心得



研修講師の山本委員

山本講師は救急対応時のため、社員の緊急連絡網を作成し必ず連絡が取れるようにしているとのことでした。また、ベルトコンベアの電源ボタンが遠い場合は非常停止ボタンをすぐ近くに設置するなど、ヒヤリ・ハットで気づいたことは素早く現場に反映していると話されました。

〈研修Ⅱ〉では講師として、新美 優安全衛生委員（豊田ケミカルエンジニアリング（株）コーポレート部安全推進Gグループリーダー）が登壇されました。

10. 整理整頓
11. 正しい作業服装の基準と正しい保護具



開会の挨拶をする伊藤安全衛生委員長

12. 事業場内の通行
13. 5S運動（活動）
14. 熱中症と対策
15. メンタルヘルス
16. 危険物・有害物の取扱いについて
17. 災害時の対応と救急措置について
18. 労働災害事例について



研修講師の新美委員

新美講師は同社でも実践されている「整理整頓」は、品物が安定し崩れにくく、安全につながるうえ作業が捗ると話されました。また、熱中症対策は会社ぐるみで取り組むことが大切であり、水分摂取の際塩分の補給も忘れないでくださいとのことでした。

両名の講師は各社での事例を話され、これぐらいなら大丈夫であろう、という気の緩みが大事故につながることもあるため、自身を守る上でも作業における安全衛生を必ず意識してほしいとのことでした。



閉会の挨拶をする堀部専務理事

閉会の挨拶で堀部隆司専務理事・安全衛生副委員長は「本日学んだ内容は会社に持ち帰り、社内において安全衛生への対策がどのように行われているのか、また、日頃の自分の行動をチェックし、危ないと感じた事は会社へ提案してみてください。社内

で起こる事故は個人の事故では留まらず、会社の損害にもつながりますので、労働災害を起こさないよう研修内容を活かしてください。」と述べました。

その後、堀部専務理事より受講者に修了証が手渡され研修は閉会となりました。